

いにしえ
昔からの
おくりもの

みちか
身
近
な
無
形
文
化
遺
産
の
再
発
見

平成二十四年三月二十四日(土)

①午前十時三〇分～十二時

②午後一時三〇分～三時

堺市博物館地下1階視聴覚室にて

ユネスコ「アジア太平洋無形文化遺産研究センター
(略称IRCI)」の堺市開設

2011年10月、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)が賛助する「アジア太平洋無形文化遺産研究センター」が堺市博物館内に開設されました。

同センターは、ユネスコの「無形文化遺産の保護に関する条約」に基づいて、アジア太平洋地域の無形文化遺産を保護するために、大学や他の研究機関の研究者などと連携しながらさまざまな調査研究活動を促進し、我が国の知見を活かして無形文化遺産保護に貢献することをめざす国際機関です。独立行政法人国立文化財機構の組織に位置付けられています。

堺市は2000年にユネスコ公式行事として、民族音楽・舞踊など無形文化遺産の保護の重要性と文化を通じた平和への貢献をテーマに「西暦2000年世界民族芸能祭」を開催しました。この世界民族芸能祭の理念、成果、ネットワークを継承するとともに、地方自治体としての国際協力を進め、国際的な文化交流を推進したいという考えから、IRCIを堺市に誘致しました。

堺市では、同センターと協力連携して、民族芸能・音楽公演や展覧会、国際シンポジウム・セミナー・ワークショップなどを実施し、アジア太平洋地域の無形文化遺産の保護・継承や国際交流を推進していくことにしており、その一環として、本日、無形文化遺産理解セミナー「身近な無形文化遺産の再発見」を開催いたします。

＝参 考＝

アジア太平洋無形文化遺産研究センターHP

<http://www.irci.jp/>

堺市博物館HP

<http://www.city.sakai.lg.jp/hakubutu/index.html>

お月さん いくつ

その太鼓どうした

ひいふうみいよ

お月さんいくつ

あんまり叩いて
破れて候

ひいふうみいよ

十三 七つ

その破れどうした

四方(よも)の景色を

ななおり着せて

火にくべて候

はるとながめて

おまんは どこいった

その火どうした

うめにうぐいす

油買いに酔買いに

灰になつて候

ホホンホケキヨと

油屋のかどで

その灰 どうした

さーえずる

油一升 こぼして

麦にまいて候

あすはぎおんの

その油 どうした

その麦 どうした

にけんぢャーやで

犬がねぶつて候

鳩が食べて候

箏や三味線

その犬 どうした

その鳩 どうした

囃子 テンテン

太鼓に張つて候

山へ逃げて候

てまりうた

うたのなかやま

すいか くつて

ちよごんごんごん

キヤツキヤ

あまざけホイホイ

ちよろくろくろく

キヤベツで ホイ

ちよひちひちひち

あまざけほいほい

ちよはちはちはち

にりき らいらい

しろざけほいほい

ちよくが くーじゆで

らつきよ くつて

おやまのうぐいす

ちよいとひやくついた

すいか くつて

ホーホケキヨ

ひいふうみいよ

キヤツキヤ

いさききらいらい

キヤベツで ほい

いちりき らいらい

らつきよ くつて

すいすい



ダイヤモンド買ってんか

ダイヤモンド買ってんか

ダイヤモンドは高い

高いは 通天閣

通天閣 怖い

怖いは ゆうれん

ゆうれんは 青い

青いは、坊主

坊主は すべる

すべるは 氷

氷は 溶ける

溶けるは 雪

雪は 白い

白いは うさぎ

うさぎは 走る

走るは べつと

べつとは えらい

えらいは 学者

学者は できる

できるは でんぼ

でんぼは うつつ

うつつは 鏡

鏡は 割れる

割れるは でんきゆ

でんきゆは 光る
光るは :

通天閣 || 高さ一〇三mの

新世界のシンボル

ゆうれん || 幽霊

坊主 || 坊主頭のこと?

べつと || 別当(馬丁、官長、

野球選手の別当?)

でんきゆ || 電球

さくらさくら

五	み	五	に	五	み	七	さ
六	に	四	お	四	わ	七	く
八	ゆ	五	い	五	た	八	ら
七	ウ	六	ぞ	六	す	〇	
六	か						
五	ん	五	い	五	か	七	さ
〇		五	ぎ	五	ぎ	七	く
〇		四	ウ	四	イ	八	ら
〇		三	る	三	り	〇	
〇		〇		〇		〇	
		七	い	七	か	七	や
		七	ぎ	八	す	八	よ
		八	や	九	み	九	い
		〇		八	か	八	の
		七	い	七	く	七	そ
		七	ぎ	八	も	八	ら
		八	や	七	オ	七	ア
		〇		六	か	六	は
		〇		〇		〇	

箏 平調子

登場する楽器

【箏】中国の宮廷樂が奈良時代の日本に伝来して、「雅樂」となり、箏はそのための樂器の一つであった。江戸時代初期の八橋檢校以後、近代箏曲として發展を遂げる。

【尺八】古代尺八は、唐から日本に伝来し、「雅樂」の管弦合奏に使われた。室町時代のころから、

節を一つだけ含む一節切尺八が現われ、江戸時代からは主に古典本曲を奏する普化尺八(虚無僧尺八)が一般的となる。

【笙】東アジアと東南アジア発祥のリード樂器。鳳凰の翼をおさめた姿に見立てて鳳笙ともいう。中国唐代の樂器として伝来した十七管笙が一部改造され、現在の「雅樂」で使われている。

【龍笛】日本の多くの横笛の原型ともいわれ、「雅樂」の樂器の中でも広い音域を持つ、代表的な横笛である。

【三味線】中国の三弦が祖型とされ、十六世紀後半には日本本土にもたらされたと考えられている。江戸時代以降、急速に普及し、さまざまな日本音樂の代表的な樂器として發達した。

講師紹介

森田耕山 新都山流
尺八 竹琳軒大師範、新都山流 技能担当理事
狩谷春樹 大阪音樂
大學作曲学科作曲専攻
を卒業、生田流新絃社二代家元
折本岳慶山(慶太)
都山流尺八 師範、生田
流新絃社 蒼竜軒

林 哲至 大阪藝術大學を卒業、学内において雅樂を学ぶ。現在は「日本音樂の次の一步」を目指し活動。
石山迪彦 天理大學にて雅樂の龍笛、右舞を習う。各地の雅樂舞樂公演に出演。
久保春吉 生田流新絃社蒼竜軒、生涯学習音樂指導員研究会「NW・京滋」所属

坪井春清 生田流新絃社師範、尼崎市立成良中学校音樂科教諭
中井英美 「茨木わらべうたの会」主宰 「たんぼぼ少年少女合唱団」指揮者
木戸友利子 「親と子のわらべ歌教室」主宰
上西律子 伝統文化こども教室「ことこと俱樂部」主宰、日本民俗音樂を研究